

2026年度事業計画

2026年3月30日

(1) 計画の基本骨子

7年間培ってきた大学スポーツ振興に向けた4つの重点課題に取り組む施策をより一層効果あるものに高め、進化させていくとともに、今後の少子化やAIの進展に代表される社会環境変化を踏まえ、大学スポーツの将来像と道筋を描き、将来に向けての活動を開始する年度である。

①大学スポーツ振興に向けた重点課題への取り組みを進化させる

- a) 人材育成：入学前から卒業までの支援体系再整備と運動部学生の持つ能力の可視化により価値評価の獲得を目指す
- b) 安全安心：安全安心ガイドラインとSSC認証制度の改訂により安全安心体制の更なる充実を目指す
- c) 認知拡大：ソーシャルプラットフォームを活用した情報発信を主軸に大学スポーツの認知定着を推進する
- d) 体制整備：大学スポーツ統括業務ガイドライン策定、研修コンテンツの充実化を図る

②会員活動における課題解決を目指す活動を推進する

- a) 大学におけるスポーツの重要性の認知定着と大学スポーツ運営ノウハウや情報の大学間共有を促進する
- b) 競技団体の運営におけるさまざまな課題に対しての支援策を推進する
- c) 運動部学生への直接的支援となる新たなサービス展開を行う

③国・自治体・各種協会・企業・団体とのより一層の連携を推進する

- a) スポーツ庁との連携：人材育成や地域課題の解決に資する事業をスポーツ庁とともに推進する
- b) 自治体との連携：大学と地域自治体との連携を促進する事業を展開する
- c) 各種協会との連携：スポーツ関連協会のみならず、大学関連協会・学会など大学スポーツ関与協会との連携を推進する
- d) 各種企業・団体との連携：各種企業、団体等との連携を進め、大学スポーツへの支援の輪を多面的に拡大する

④会員組織全体の基盤強化に向けた取り組みを推進する

- a) 収入獲得に向けた多面的取り組み：各種企業や団体からの協賛のみならず、助成・補助・寄付の獲得に精力的に取り組む
- b) 収益化プログラムの開発：スポーツ資源を活用した収益化プログラムの開発を推進する
- c) 会員の開拓：大学・競技団体に向けた説明会の開催と体験プログラムの提供による理解向上を促進する
- d) 未来像の策定：大学スポーツの未来像とそれに向けた取り組みを検討する外部委員会を設置する

(2) 個別計画の概要

①大学スポーツ振興に向けた重点課題への取り組みの改善

| | |
|----------|--|
| デュアルキャリア | <p>①入学前から卒業まで一貫した成長支援をレイヤー構造で提供する体系にてプログラム提供を推進する : 入学前、大学での学びへの移行/学業充実支援 : 大学スポーツの基礎形成支援 : 資質・能力を高める研修セミナー支援 : 資質・能力の可視化支援 : 就労支援</p> <p>②運動部学生のインテグリティを醸成するアプリへ各種研修コンテンツの搭載を進め利用者を拡大する</p> |
| 安全安心 | <p>①2025年度改訂のUNIVAS安全安心ガイドラインの浸透・徹底を図る</p> <p>②UNIVAS SSC取得支援を継続推進する一方、補償制度は本来の認証制度の趣旨をうけ2026年度認証分より廃止する (但し、認証取得済団体は次回更新期まで補償を継続する)</p> <p>③コンプライアンス研修会・安全安心セミナーは、実践的な講習等も含め新たなテーマを加えたラインアップとする</p> |
| 認知拡大 | <p>①試合のみならずショート動画の充実を図り、YouTubeメンバーシップの拡大を目指す</p> <p>②UNIVAS CUP 2026-27 : 盛り上げ増幅を目指し、年度末の結果発表・表彰を可能とする開催サイクルへの見直しを検討する</p> <p>③UNIVAS AWARDS 2026-27 : 応募者及び推薦参加団体のさらなる拡大を目指す</p> |
| 体制整備 | <p>①大学におけるスポーツ統括業務に関するガイドラインの策定と研修コンテンツの充実化を進める</p> <p>②スポーツ庁や民間企業が行う「大学と連携した事業展開」の受注に取り組む</p> |

②会員活動における課題解決を目指す活動を推進

| | |
|----------|---|
| 大学幹部統括部局 | <p>①大学幹部に対する大学スポーツへの理解度向上を促進する</p> <p>②大学間のスポーツ運営ノウハウ共有や情報交換を促進するカンファレンスを継続開催する</p> |
| 競技団体運営支援 | <p>①競技団体の運営力向上に向けた団体横断型のカンファレンスを開催する</p> <p>②競技大会の活性化に向けた企業支援やサービスの提供を充実化する</p> |
| 学生運動部 | <p>①運動部学生の活動支援、生活支援につながるEコマース情報の一括提供機能を新設する</p> <p>②運動部対象の差し入れプログラムを新設する</p> |

2026年度事業計画

③国・自治体・各種協会・企業・団体とのより一層の連携の推進

| | |
|-------|---|
| スポーツ庁 | ①スポーツ庁UNIVAS担当課が地域スポーツ課に変更されることを受け、より密な連携体制を構築する ②統括団体活動支援6事業の推進に加え、学生主体運営向上事業や大学スポーツ資源有効活用事業の受託を目指す |
| 自治体 | ①大学による地域貢献モデル事業の募集を通じて、大学と地域自治体との連携を促進する ②部活動の地域展開の推進に向けて東京都との連携を推進する |
| 各種協会 | ①JSPO、JSC等スポーツ関連協会との多面的連携を推進する ②新たな連携先として、大学や企業が属する又は関連する協会との連携を模索する |
| 企業・団体 | ①新たな取り組みの追加により企業への提供コンテンツの拡大を図り、より多くの企業支援の獲得を目指す ②新たな連携先として各種団体へのアプローチを推進する |

④組織基盤強化に向けた取り組みの推進

| | |
|-----------------|---|
| 収入獲得に向けた多面的取り組み | ①企業協賛獲得に加えて、協会・団体との連携を推進し、支援金・助成金・補助金の獲得を目指す ②寄付金の受付窓口をオフィシャルサイトに新設し、法人のみならず個人からの支援獲得の体制を構築する ③会員支援にもつながる支援サービス開発、事業運営受託など多様な収益源の開発を進める ④大学スポーツ未来基金の設立に向けた賛同企業・出資企業の開拓を進める |
| 収益化プログラム開発 | ①受益者負担を原則として、会員への既存サービスプログラムの見直しと有料提供への転換を図る ②大学スポーツアセットを収益化していく新たなプログラム開発を進める |
| 会員の開拓 | ①スポーツ庁連携にて、未加盟大学対象のUNIVAS説明会を開催する ②JSPO連携にて、未加盟競技団体対象のUNIVAS説明会を開催する |
| 未来像の策定 | ①大学を取り巻く環境変化を予見して「2040年の大学スポーツのあるべき姿」を描き、実現に向けた課題と解決のロードマップを設計し推進する ②検討に当たっては、大学代表者、実務推進者、実業家などの大学スポーツ関係者及び外部有識者からなる検討会議を設置し、議論を重ね、UNIVASへの提言としてまとめていく |

1. 2026年度会員支援プログラム

(1)デュアルキャリア関連

| プログラム | 期間 | 概要 |
|-------------|----|---|
| 学習支援プログラム | 通年 | <p>①入学前及び初年次に活用できるオリジナル教材の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業への興味を喚起する導入教材：「スポーツと学びのハンドブック」「スポーツ知への招待」 ・スポーツを題材とした問題から考え基礎学力の向上を目指す教科教材：「スポーツ探求ことば入門」「スポーツ探求数学入門」「スポーツ探求英語入門」 <p>②オリジナル教材を活用した出張講義、教材活用方法を教えるセミナーの開催</p> |
| キャリア支援プログラム | 通年 | <p>①主に初年次を対象とした大学スポーツの価値理解と基礎形成（インテグリティ、安全安心、デュアルキャリア等）を学ぶアプリ「まことレ」の提供</p> <p>②自己分析を通じてチームにおける自分の役割や社会で在りたい自分を見つけるセミナーの開催</p> <p>③スポーツで培う経験を社会で生きる力に転換する人間力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リーダーズキャンプ」：運動部キャプテン向けのリーダーシップ醸成研修 ・「組織マネジメント研修」：マネージャー等支援スタッフ向けの組織マネジメント基礎研修 ・「モチベーションマネジメント」：自己認識から学ぶチーム作りに向けた指導者・学生向け研修 <p>④次世代のリーダーを育成する対象者選抜型セミナーの開発</p> |
| 運動部学生の就活支援 | 通年 | <p>①デュアルキャリアプログラムのセミナー等を通じた企業と学生のマッチングの場を提供</p> <p>②自己分析を行い運動部学生自らが志望するキャリアの実現に向けて、大学のキャリア支援と連携した企業のキャリア支援体制の提供</p> |

(2)安全安心関連

| プログラム | 期間 | 概要 |
|--------------------------|----|--|
| UNIVAS SSC (安全安心認証制度) | 通年 | ①安全安心ガイドラインに基づく安全体制を評価する認証制度。安全マニュアル等の雛形集に基づく体制整備支援、情報交換会等により取得を促進。3年以内にUNIVAS会員の半数の取得を目指す ②UNIVAS SSC取得支援を継続推進する一方、補償制度は本来の認証制度の趣旨から2026年度認証分より廃止する（但し、認証取得済団体は次回更新期まで補償を継続する） |
| コンプライアンス研修会 | 通年 | ①2023年に構築したコンプライアンス研修プログラムの継続展開 ・オンライン定期研修会・講師派遣出張研修会・学生向けショート動画提供 |
| 安全安心セミナー | 隔月 | ①運動部活動における傷害疾病予防・症状軽減・体制強化に役立つ研修会。より現場が必要とする内容とし、開催案内の強化と新たな案内ルートも確保して集客を強化する<MS&AD社協賛> |
| UNIVAS相談窓口 | 通年 | ①ハラスメント等問題、学生や指導者、保護者から直接相談を受け付ける相談窓口を継続して設置 |

(3)事業企画関連

| プログラム | 期間 | 概要 |
|-----------------------|-------|--|
| 競技団体とのハブ機能強化 | 通年 | ①他競技団体インカレ視察 ・各競技団体の大会運営改善/選手支援体制の強化/観客対応/広報体制等の比較検証を目的とし、大学スポーツ振興に向けた競技団体の連携強化を図る ②競技団体スタッフカンファレンスの新設 ・運営学生スタッフのモチベーション向上、マネジメントスキルの向上を目指す ③競技大会の活性化に向けた企業支援やサービス提供の充実化 |
| 動画配信 | 4月～3月 | ①ショート動画の充実も図り、YouTubeメンバーシップ/チャンネル登録者数拡大を目指す |
| UNIVAS CUP 2026-27 | 6月～3月 | ①盛り上げ増幅を目指し年度末の結果発表/表彰を可能とする開催サイクルへの見直しを検討 ②安全安心な大会運営のため、モバイルAEDのレンタルサービス開始 |
| UNIVAS AWARDS 2026-27 | 3月 | ①UNIVAS AWARDS 2026-27：応募者及び推薦参加団体のさらなる拡大を目指す ・募集開始予定10月・表彰式開催予定3月 |

(4)広報関連

| | | |
|----------|----|--|
| U.S.L.活動 | 通年 | ①学生メンバーによる学生の視点を活かした広報活動を展開 ：UNIVAS CUP指定大会および地域リーグの現地取材と情報発信 ：大学スポーツを支えるスタッフの取り組み紹介や新規企画の立案と実行 ：連携企業との取り組みに関する広報支援 |
|----------|----|--|

(5)総合推進関連

| プログラム | 期間 | 概要 |
|------------------|-------|---|
| インテグリティ支援 | 4月～3月 | ①インテグリティを高めるアプリ「まこトレ」をMy UNIVASコンテンツとして提供 |
| 学競産官連携事業の推進 | 6月～3月 | ①スポーツ庁「大学スポーツ総合支援事業」の受託、大学モデル事業形成を促進 ②東京都と連携、中学校部活動地域展開における大学参加モデル形成を推進 ③企業との新たな連携による地域活性事業の開発 |
| 大学スポーツ統括業務の整備・充実 | 通年 | ①過去2年間に実施した調査や実証検証を踏まえ、ガバナンス強化に向けた統括業務・運動部運営業務の標準化に向けたガイドラインや研修の構築を行う ②ガイドライン浸透・定着に向けた大学上層部を含めた認知拡大を行う |
| 情報共有会 | 年2回 | ①UNIVASへの理解深耕、積極的関与を目的として、会員に向けた説明会を開催 |
| 大学代表者による懇談会 | 12月 | ①UNIVASの活動と大学スポーツ振興に関して、大学の代表者の方々から幅広くご意見を賜る懇談会を開催 |